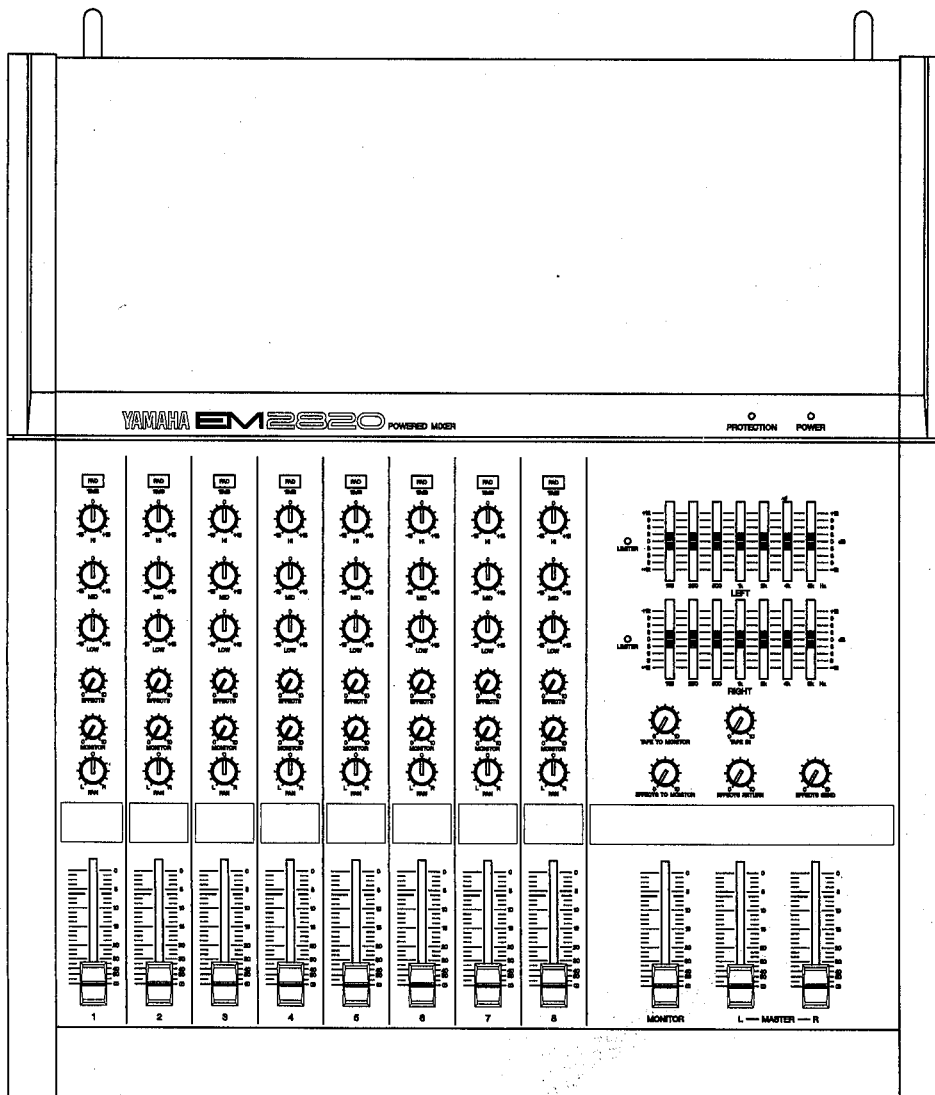


# YAMAHA

## POWERED MIXER

# EM2820

### 取扱説明書



このたびは、ヤマハ・パワードミキサー EM2820をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

EM2820は、ヤマハが誇るオーディオ技術とPA機器の豊富な実績と経験をベースに開発した、ハイパワー、ハイクオリティかつ、高信頼性、高安定性を持った8チャンネルイン、200W+200W(4Ω)のパワードミキサーです。

EM2820の性能をフルに発揮させると共に、末永くご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

## 特 長

---

- ライン入力からダイナミックマイクロフォン、ファントム電源タイプコンデンサーマイクロフォンにまで対応した8入力端子を装備。
- 連続出力200W+200W(4Ω負荷)のハイパワーにリミッター回路を装備し、過大入力があってもスピーカーを保護します。
- サウンドの幅を広げる7バンドのグラフィックイコライザーを装備しています。
- テープの再生や録音に便利なTAPE IN、REC OUT端子、エフェクターへのセンド/リターン端子、ラインアウト出力用のST OUT端子を装備。
- 各チャンネルのソースはもちろんTAPE IN端子、EFF RTN端子からの信号も自由にレベル設定できるモニター回路。
- 出力部を常時チェックするDC検出回路、パワーON時のミュート回路などの保護回路を装備し、過酷な状況でも高い安定性を約束します。

## 目 次

---

ご使用上の注意	1
各部の名称と機能	2
接続例	8
総合仕様	9
入・出力仕様	10
リミッター回路の動作	11
故障かな?と思ったら	11
ブロック&レベルダイアグラム	12
寸法図	13

# ご使用上の注意

---

## ◆設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど。
- 温度の特に低い場所、または高い場所。
- 湿度の特に高い場所。
- 振動やホコリの多い場所。

## ◆電源について

- 本機は日本国内仕様です。必ず、AC100V（50Hzまたは60Hz）の電源コンセントに接続してください。AC100V以外の電源では絶対にご使用にならないでください。
- 本機は大出力時には大電力を消費しますので、コンセントの電源容量にご注意ください。  
電源プラグをコンセントから抜くときは、コード部分の断線やショートを防ぐため、コードを引っ張らないで必ずプラグ側を持って引き抜いてください。
- 長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから外してください。

## ◆電源を入れる時は

電源を入れる時は、スピーカーなどの損傷を避けるため、各マスターフェーダー、マスターボリュームを絞ってください。

## ◆接続について

接続は、各機器の電源スイッチをOFFにしてから行なってください。

## ◆XLRタイプコネクタについて

本機のXLRタイプコネクタはIEC規格によって配線されていて、1番シールド（アース）、2番ホット、3番コールドの接続形式です。

## ◆セットの移動について

セットの移動は、接続コードのショートや断線を防ぐため接続コードを取り外してから行なってください。

## ◆ケースを開けない

故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。

## ◆無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。

## ◆外装のお手入れについて

外装をベンジンやシンナーなどの揮発油で拭いたり、近くでエアゾールタイプのスプレーを散布しないでください。外装のお手入れの際は、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。

## ◆落雷に対する注意

落雷の恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜き取ってください。

## ◆保証書の手続きを

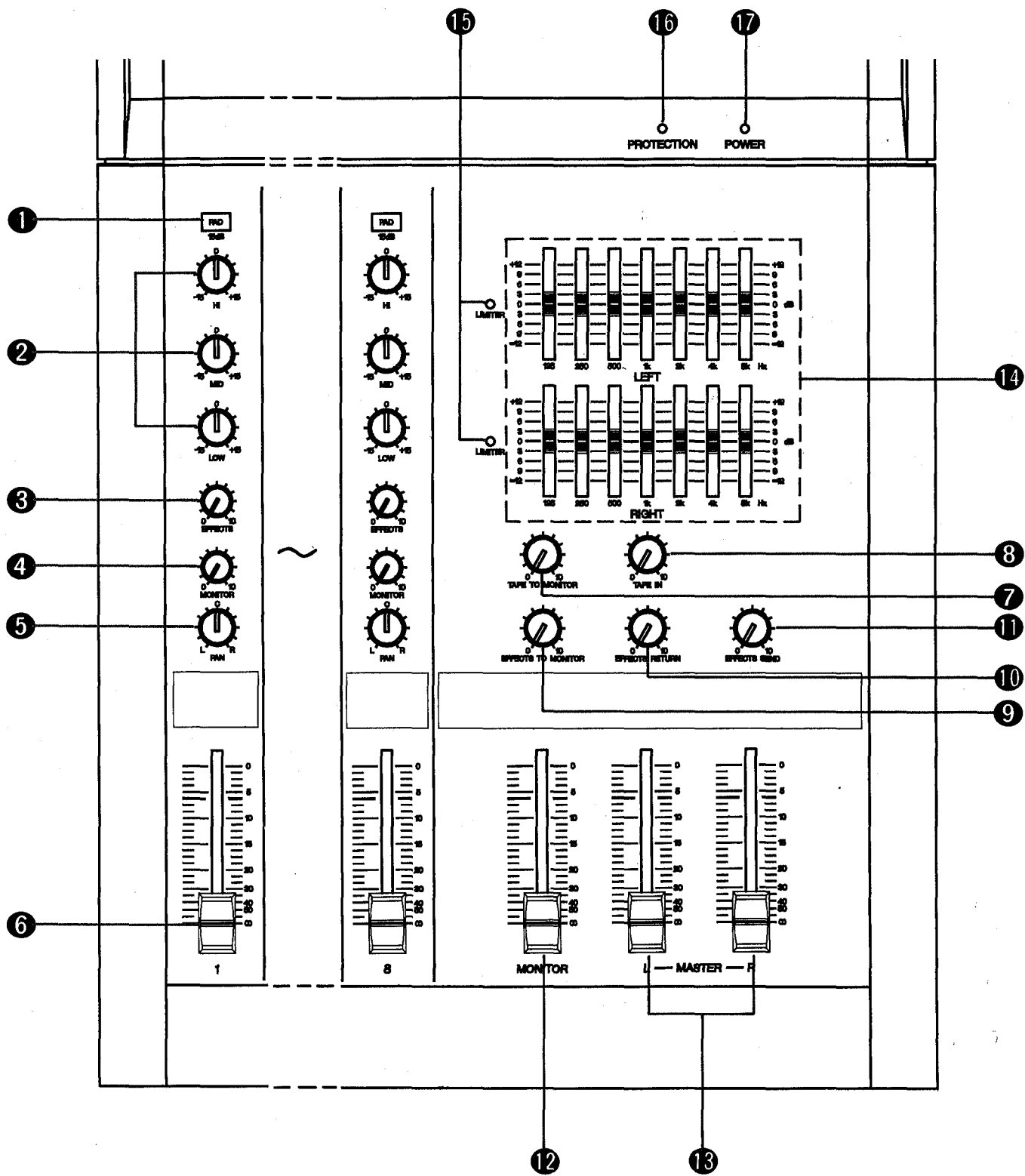
お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印、購入年月日の記入がありませんと、保証期間中でもサービスが有償となることがあります。

## ◆保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

# 各部の名称と機能

※ブロック&レベルダイアグラム (P12) と併せてご覧ください。



## チャンネルセクション

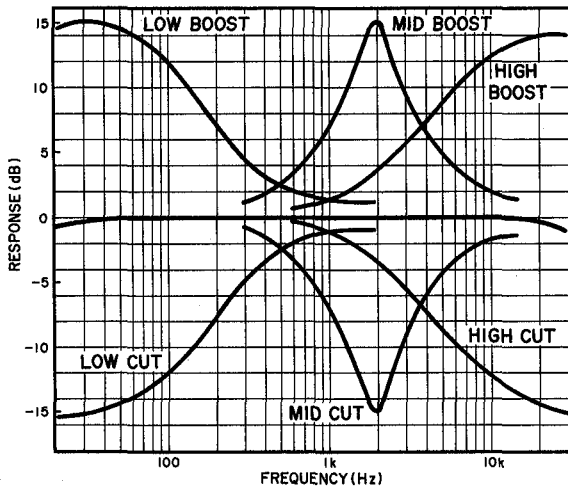
### ①パッドスイッチ (PAD)

減衰量15dBのパッドスイッチです。入力信号のレベルが高すぎて、音が歪んだりチャンネルフェーダー⑥で調整しにくい場合にONにします。

### ②イコライザーコントロール (HI, MID, LOW)

これらの3つのイコライザーで、各チャンネルの音質を以下の範囲でコントロールします。  
ツマミを右へ廻すとブースト、左へ廻すとカット、“0”位置でフラットな特性となります。

ツマミ	レンジ	基準周波数	タイプ
HI	±15dB	10kHz	シェルビング
MID	±15dB	2 kHz	ピーキング
LOW	±15dB	100Hz	シェルビング



### ③エフェクトコントロール (EFFECTS)

各チャンネルのポストイコライザー（イコライザー後）の信号レベルをこのツマミで調整して、エフェクトセンドバスへ送り出します。

エフェクトセンドバスへ送った信号は、EFFECTS SENDコントロール①を経てEFF SEND端子⑳に出力されますので、EFF SEND端子⑳に接続した外部エフェクター等でエフェクトを加えることができます。

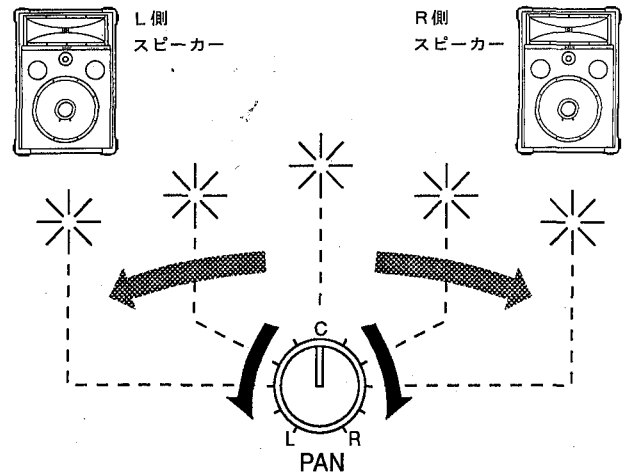
### ④モニターコントロール (MONITOR)

各チャンネルのプリイコライザー（イコライザー前）の信号レベルをこのツマミで調整して、モニターバスへ送り出します。

モニターバスへ送った信号は、モニターマスターフェーダー⑫を経てMON OUT端子㉑またはSP OUT端子㉒のR/(MON) 側へ出力されます。

### ⑤パンポットコントロール (PAN)

チャンネルフェーダー⑥でレベル調整した信号をステレオバスへ送るときの、L, Rのバランス（定位）をこのツマミで設定します。ツマミ位置センター（C）でL, R等しい信号を送り出します。



### ⑥チャンネルフェーダー

各チャンネルの信号レベルをこのフェーダーで調整して、ステレオバスへ送り出します。

ステレオバスへ送られた信号は、グラフィックイコライザーを経てSP OUT端子㉒へ出力されます。またステレオバス信号は、REC OUT端子㉓およびST OUT端子㉔へも出力されます。

※使用していないチャンネルのフェーダーは下げて（“∞”位置）おいてください。

## マスターコントロールセクション

### ⑦ TAPE TO MONITORコントロール

リアパネルのTAPE IN端子⑳から送られてきた信号のレベルを調整して、モニターバスへ送り出します。

### ⑧ TAPE INコントロール

リアパネルのTAPE IN端子⑳から送られてきた信号のレベルを調整して、ステレオバスへ送り出します。

※1台のテープデッキを録音／再生用（本機REC OUT端子㉑→デッキLINE IN端子、本機TAPE IN端子⑳→デッキLINE OUT端子）として本機と接続し、録音する場合は、このつまみを“0”に絞ってください。

### ⑨ EFFECTS TO MONITORコントロール

リアパネルのEFF RTN端子㉒から送られてきた信号のレベルを調整して、モニターバスへ送り出します。

### ⑩ EFFECTS RETURNコントロール

リアパネルのEFF RTN端子㉒から送られてきた信号のレベルを調整して、ステレオバスへ送り出します。

### ⑪ EFFECTS SENDコントロール

各チャンネルから送られ、エフェクトセンドバスでミキシングされた信号を全体的にレベル調整して、リアパネルのEFF SEND端子㉓へ送り出します。

### ⑫ モニターマスターフェーダー (MONITOR)

各チャンネルからの信号と、TAPE IN端子⑳およびEFF RTN端子㉒からの信号がミックスされた、モニターバスの信号を全体的にレベル調整して、リアパネルのMON OUT端子㉔へ送り出します。

※リアパネルのパワーアンプモード切換スイッチ㉕が“L + R / MON”側にセットされている場合は、SP OUT端子㉖のR / (MON)側出力のレベル調整用フェーダーとなります。

### ⑬ マスターフェーダー (MASTER L, R)

各チャンネルからの信号と、TAPE IN端子⑳およびEFF RTN端子㉒からの信号がミックスされた、ステレオバスの信号を全体的にレベル調整して、リアパネルのST OUT端子㉗およびグラフィックイコライザー→SP OUT端子㉖へ送り出します。

※リアパネルのパワーアンプモード切換スイッチ㉕が“L + R / MON”側にセットされている場合は、SP OUT端子㉖のL / (L + R)側出力のレベル調整用フェーダーとなります。

### ⑭ グラフィックイコライザー

SP OUT端子㉖に送り出される信号の音質を調整する、7バンドのグラフィックイコライザーです。  
中心周波数は125, 250, 500, 1k, 2k, 4k, 8kHzで、それぞれ±12dBでブースト、カットできます。

### ⑮ LIMITERインジケータ

内部のアンプに過大入力加わると、リミッター回路が動作し、このインジケータが点灯します。

### ⑯ PROTECTIONインジケータ

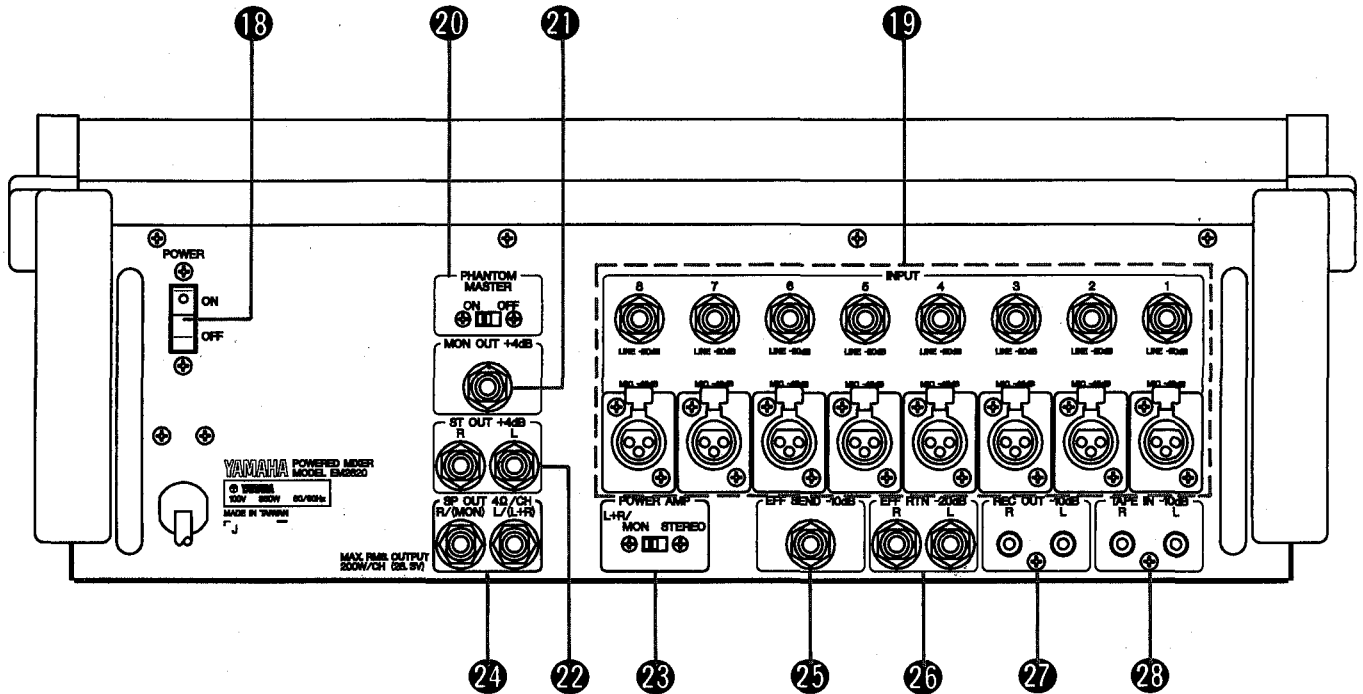
POWERスイッチ㉙をONにすると約6秒間点灯し、プロテクション（保護）回路が動作していることを知らせます。このインジケータが点灯している間はスピーカーから音は出ません。

また、何らかの原因でプロテクション回路が動作した場合もこのインジケータが点灯し、音が出なくなります。㉚の時は11ページの“故障かな？と思ったら”をご参照ください。原因が取り除かれれば自動的に復帰し、インジケータが消え正常動作となります。

### ⑰ POWERインジケータ

POWERスイッチ㉙をONにすると、このインジケータが点灯します。

## リアパネル



### 18 POWERスイッチ

電源スイッチです。ON/OFFする場合は、マスターフェーダー⑬、モニターマスターフェーダー⑫を“∞”にし、およびEFFECTS SENDコントロール⑪を“0”にしてから行なってください。

### 19 INPUT端子 (1～8)

各チャンネル共に、標準フォーンジャック (LINE:アンバランス型) とMIC用XLRタイプコネクタ (MIC:バランス型) の2種類の入力端子を装備しています。

LINE端子は、定格入力レベル-20dB、出力インピーダンス600Ωのライン入力に対応します。

MIC端子は、定格入力レベル-45dB、出力インピーダンス50～600Ωのマイクロフォン入力に対応します。また、本機に内蔵されているファントム電源 (DC+48V) により、ファントム電源タイプコンデンサーマイクロフォンを使用することができます。

### 20 PHANTOM MASTERスイッチ

このスイッチをONにすると、すべてのチャンネルのMIC入力端子 (XLRタイプコネクタ) ⑲にDC+48Vが加わり、ファントム電源タイプコンデンサーマイクロフォンを直接接続することができます。

ファントム電源を使用しない場合は、必ずOFFにしておいてください。

※PHANTOM MASTERスイッチのON/OFFは、マスターフェーダー⑬、モニターマスターフェーダー⑫を“∞”にし、EFFECTS SENDコントロール⑪を“0”にしてから行なってください。

### 21 MON OUT端子

モニターマスターフェーダー⑫で音量調整されたモニターバス信号がこの端子より出力されます。

モニター用のパワーアンプ+スピーカー等を接続します。規定出力レベルおよび出力インピーダンスは+4dB/150Ωです。

### 22 ST OUT端子 (L, R)

マスターフェーダー⑬で音量調整されたステレオバス信号がグラフィックイコライザー⑭やリミッター回路を通らずに、直接この端子より出力されます。

規定出力レベルおよび出力インピーダンスは+4dB/150Ωです。

**⑫ パワーアンプモード切換スイッチ**

SP OUT端子⑭から出力するソースのモードをこのスイッチで選択します。

選択されたソースは、グラフィックイコライザー⑬やリミッター回路、パワーアンプを通過してSP OUT端子⑭送られます。

●STEREOモード

ステレオバスのL, R信号がSP OUTのL/(L+R), R/(MON) 端子からそれぞれ出力されます。

●L+R/MONモード

SP OUTのL/(L+R) 端子からはステレオバスのL, R信号がミックスされたものが出力され、R/(MON) 端子からはモニターバス信号が出力されます。

※モードスイッチの切り換えは、必ず電源OFFの状態で行なってください。

**⑭ SP OUT端子 (L/(L+R), R/(MON))**

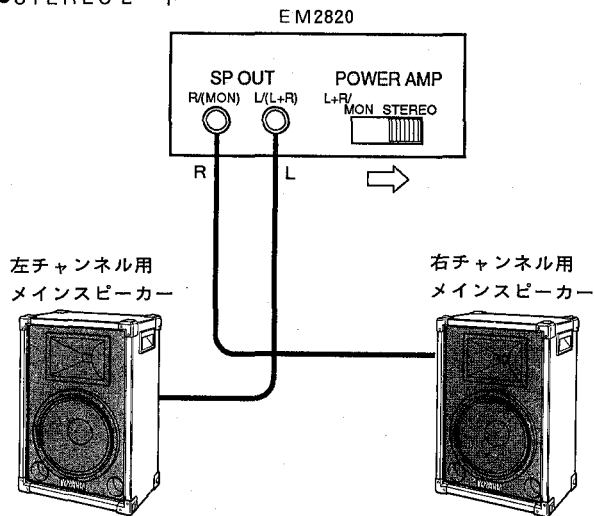
スピーカーを接続する端子です。

“STEREO” モードで使用する場合は、L/(L+R) 端子に左チャンネル用メインスピーカーを、R/(MON) 端子に右チャンネル用メインスピーカーを接続します。

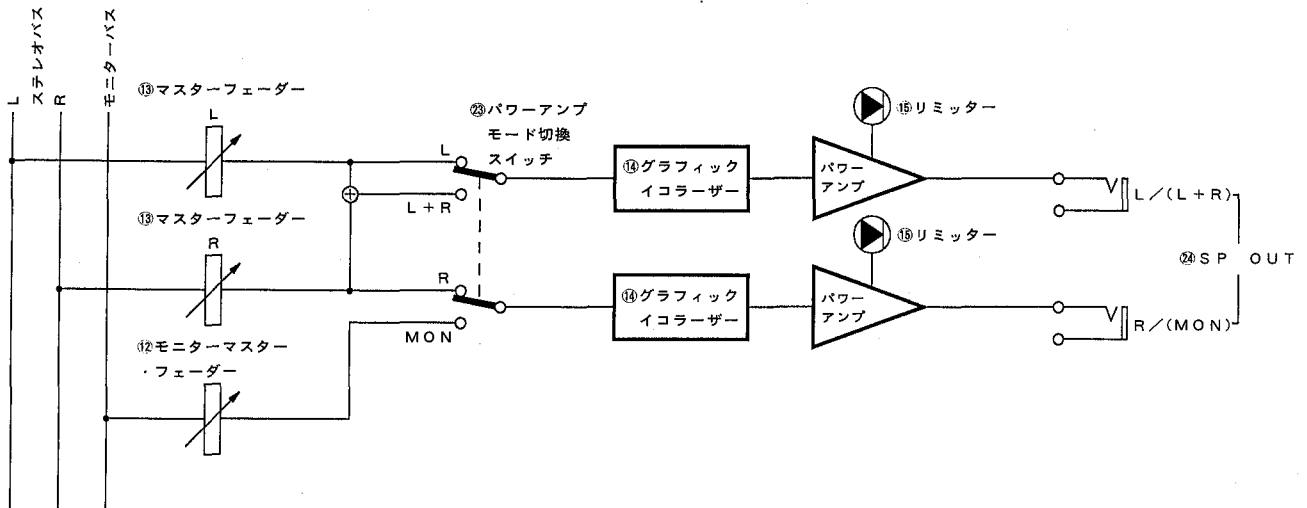
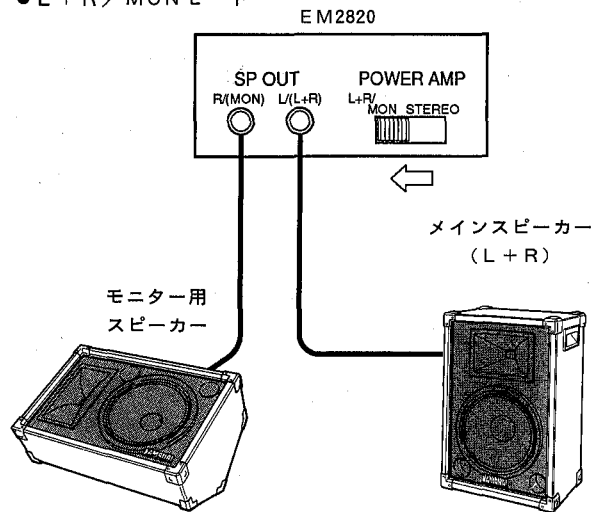
“L+R/MON” モードで使用する場合は、L/(L+R) 端子にメインスピーカーを、R/(MON) 端子にモニター用スピーカーを接続します。

※接続するスピーカーは、必ずインピーダンスが4Ω以上のものを使用してください。

●STEREOモード



●L+R/MONモード





#### ⑫ EFF SEND 端子

EFFECTS SEND コントロール ⑪ で音量調整されたエフェクト send バス信号がこの端子より出力されます。ディレイやエコー等のエフェクターの入力端子と接続します。規定出力レベルおよび出力インピーダンスは  $-10\text{dB}/150\Omega$  です。

#### ⑬ EFF RTN 端子 (L, R)

EFF SEND 端子 ⑫ と接続した、ディレイやエコー等のエフェクターからのエフェクト信号の入力端子です。EFFECTS RETURN コントロール ⑩ で音量調整してステレオバスへ、EFFECTS TO MONITOR コントロール ⑨ で音量調整してモニターバスへ送ることができます。規定入力レベルおよび入力インピーダンスは  $-20\text{dB}/10\text{k}\Omega$  です。

#### ⑭ REC OUT 端子 (L, R)

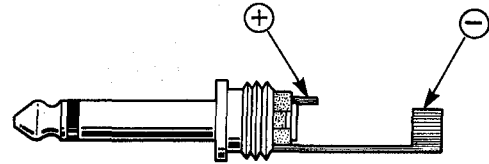
マスターフェーダー ⑬ で音量調整される前のステレオバス信号をこの端子より出力します。テープレコーダーの IN 端子と接続して、本機でミキシングした信号を録音することができます。規定出力レベルおよび出力インピーダンスは  $-10\text{dB}/600\Omega$  です。

#### ⑮ TAPE IN 端子 (L, R)

テープレコーダー等のラインレベル信号の入力端子です。TAPE IN コントロール ⑧ で音量調整してステレオバスへ、TAPE TO MONITOR コントロール ⑦ で音量調整してモニターバスへ送ることができます。規定入力レベルおよび入力インピーダンスは  $-10\text{dB}/10\text{k}\Omega$  です。

#### フォーンプラグ接続図

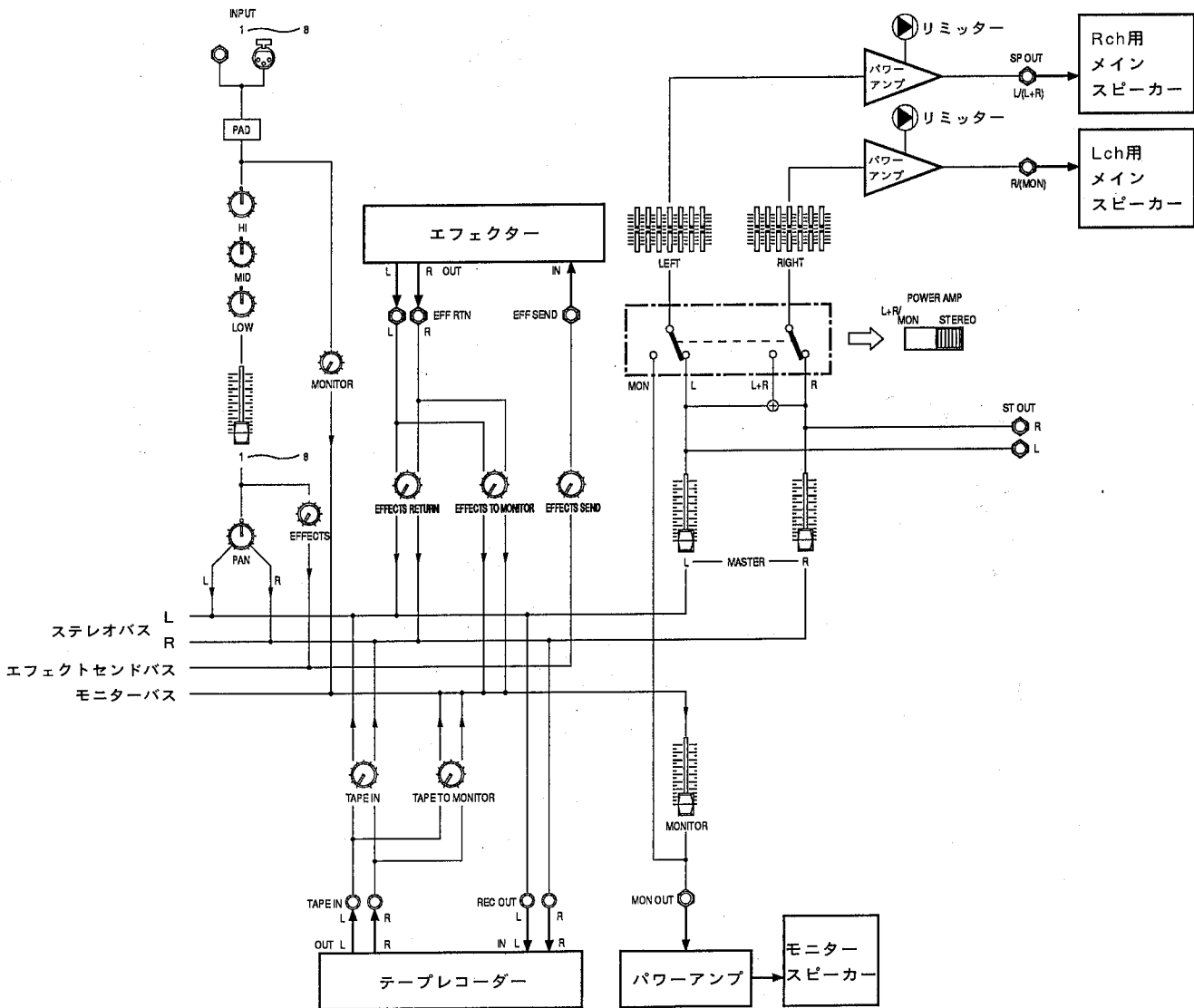
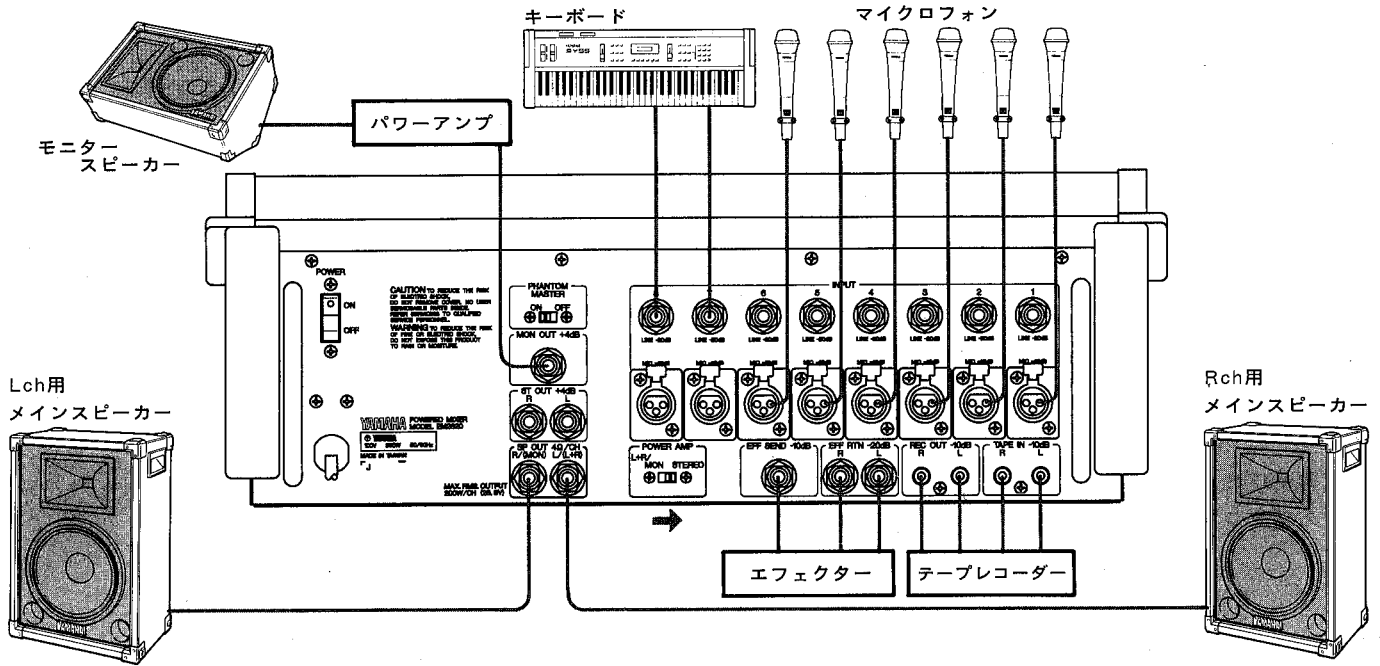
本機で使用している標準フォーンプラグは、すべて下図のような極性になっています。間違えずに使用してください。



#### ご注意ください

LINE 用 INPUT 端子 ⑰ と SP OUT 端子 ⑳ は同じ形状のジャックになっています。誤って SP OUT 端子に楽器等を接続した場合楽器等を破損するおそれがありますので、接続は十分に注意して行ってください。

# 接続例



# 総合仕様

## 連続出力

200W+200W @ 4Ω, 0.5% (THD) at 1kHz  
120W+120W @ 8Ω, 0.5% (THD) at 1kHz

## 最大出力レベル

+20dB (MON OUT) @ 600Ω, 0.5% at 1kHz  
+20dB (EFF SEND) @ 600Ω, 0.5% at 1kHz

## 全高調波歪率 (THD) (CH fader→nominal)

0.3%以下, 20Hz~20kHz @ 100W/4Ω (MIC IN to SP OUT)  
0.2%以下, 20Hz~20kHz @ +4dB/600Ω (MIC IN to LINE OUT, MON OUT)

## 周波数特性

+1, -3dB, 20Hz~20kHz @ 1W/8Ω (SP OUT)  
+1, -3dB, 20Hz~20kHz @ +4dB/600Ω (LINE OUT)

## ハム&ノイズ (20Hz~20kHz, Rs=150Ω, Input PAD=0dB, Input sensivity=-45dB)

入力換算ノイズ -117dB  
残留ノイズ -70dB (SP OUT)  
-97dB (LINE OUT/MON OUT)  
-105dB (EFF SEND)

LINE OUT -77dB (81dB S/N)  
(MASTER fader→max, All CH faders→min)  
-71dB (75dB S/N)  
(MASTER fader→nominal, One CH fader→nominal)

MON OUT -77dB (81dB S/N)  
(MONITOR master→max, All CH MON→min)  
-71dB (75dB S/N)  
(MONITOR master→nominal, One CH MON→nominal)

EFF SEND -93dB (-83dB S/N)  
(EFFECTS SEND master→max, All CH EFFECTS→min)  
-85dB (75dB S/N)  
(EFFECTS SEND master→nominal, One CH EFFECTS→nominal)

## クロストーク (1kHz)

入力CH間 60dB  
入力CH→SP OUT間 60dB

## 最大電圧利得

82dB MIC IN to SP OUT  
55dB MIC IN to LINE OUT  
41dB MIC IN to REC OUT  
55dB MIC IN to MON OUT  
47dB MIC IN to EFF SEND  
30dB LINE IN to LINE OUT  
30dB EFF RTN to LINE OUT  
30dB EFF RTN to MON OUT  
20dB TAPE IN to LINE OUT  
20dB TAPE IN to MON OUT  
76dB MIC IN to SP OUT(L) @ POWER AMP select: L+R/MON

## INPUTチャンネルイコライザー

HI ±15dB (10kHz シェルビング)  
MID ±15dB (2kHz ピーキング)  
LOW ±15dB (100Hz シェルビング)

## グラフィックイコライザー

レベル変化幅 ±12dB  
中心周波数 125, 250, 500, 1k, 2k, 4k, 8kHz (ピーキング)

## リミッター

Input Overload 15dB

## インジケーター

POWER (赤) パワーON時点灯  
LIMITER (赤) リミッター回路作動時点灯  
PROTECTION (赤) パワーON投入ミュート時点灯  
SP OUT端子にDC±2V以上検出時点灯

## 保護回路

POWER ON MUTE 6±2秒 (電源投入後)  
DC検出 DC±2V (SP OUT端子にて)

## PCリミッター

RL≤2Ω

## ファントム電源

+48VDCがINPUTのMIC端子 (XLR) に供給される

定格電源 AC100V、50/60Hz

定格消費電力 350W

寸法 500(W)×172(H)×550(D)mm

重量 19.5kg

※0dB=0.775Vrms

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 入・出力仕様

## ■入力仕様

入力端子		PAD	入力インピーダンス	ソースインピーダンス	入力レベル			使用コネクター
					感度	規定レベル	最大ノンクリップレベル	
CH INPUT (1~8)	MIC IN	OFF	4k $\Omega$	50~600 $\Omega$ マイク	-51dB (2.18mV)	-45dB (4.36mV)	-20dB (77.5mV)	XLR-3-31 タイプ
		ON			-36dB (12.3mV)	-30dB (24.5mV)	-5dB (436mV)	
	LINE IN	OFF	10k $\Omega$	600 $\Omega$ ライン	-26dB (38.8mV)	-20dB (77.5mV)	+5dB (1.38V)	フォーン ジャック
		ON			-11dB (218mV)	-5dB (436mV)	+20dB (7.75V)	
EFF RTN (L, R)			10k $\Omega$	600 $\Omega$ ライン	-26dB (38.8mV)	-20dB (77.5mV)	+10dB (2.45V)	フォーン ジャック
TAPE IN (L, R)			10k $\Omega$	600 $\Omega$ ライン	-16dB (123mV)	-10dB (245mV)	+15dB (4.36V)	RCAピン ジャック

(1)感度は、規定の出力レベル (0dB=0.775V) を得るために必要な入力レベルです。

(2)XLRタイプのコネクターは、平衡 (バランス) タイプです。すべてのフォーンジャックおよびRCAピンジャックは不平衡 (アンバランス) タイプです。

(3) 0dB=0.775Vrms

## ■出力仕様

出力端子	出力インピーダンス	負荷インピーダンス	出力レベル		使用コネクター
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
SP OUT (L, R)	0.08 $\Omega$	4 $\Omega$ スピーカー	200W	200W	フォーンジャック
		8 $\Omega$ スピーカー	120W	120W	
ST OUT (L, R)	150 $\Omega$	600 $\Omega$ ライン	+4dB (1.23V)		フォーンジャック
MON OUT	150 $\Omega$	600 $\Omega$ ライン	+4dB (1.23V)	+20dB (7.75V)	フォーンジャック
EFF SEND	150 $\Omega$	10k $\Omega$ ライン	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	フォーンジャック
REC OUT (L, R)	600 $\Omega$	10k $\Omega$ ライン	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	RCAピンジャック

(1)すべてのコネクターは、不平衡 (アンバランス) タイプです。

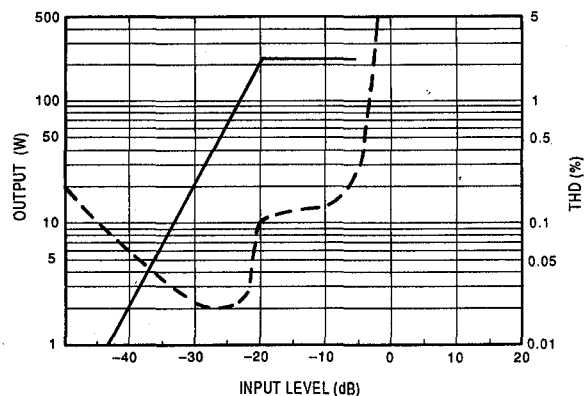
(2) 0dB=0.775Vrms

# リミッター回路の動作

ミキサーのパワーアンプ回路部に大きな信号が入力されると、リミッター回路が動作し、最大出力が一定値（200W / 4Ω）に抑えられますが、信号波形はくずれません。リミッター回路が動作し始めるパワーアンプ回路部入力信号レベルから15dB大きな入力信号まで、リミッター回路は安定して動作します（オーバーロードレンジ=15dB）。15dB以上の大きな入力レベルでは、SP OUT端子出力信号の歪が増大します。

- リミッター 入力-出力特性
- リミッター 入力-全高調波歪率特性

INPUT(-20 dB, Rs=600Ω) — SP OUT(4 Ω)  
 GEQ: flat  
 CH VOLUME and MASTER volume: Max  
 Frequency: 1 kHz

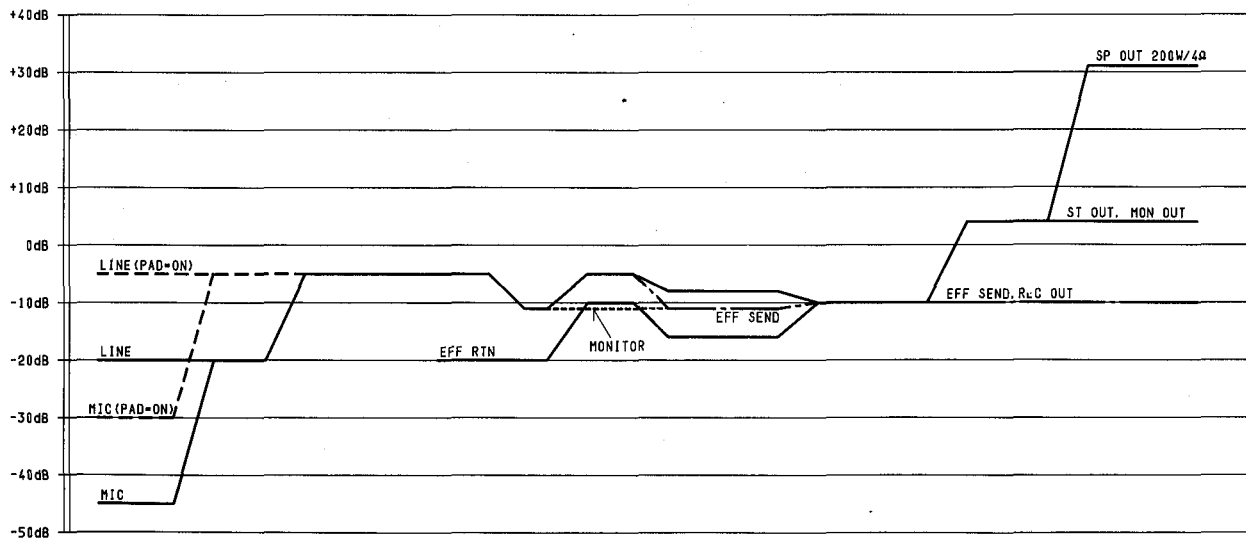
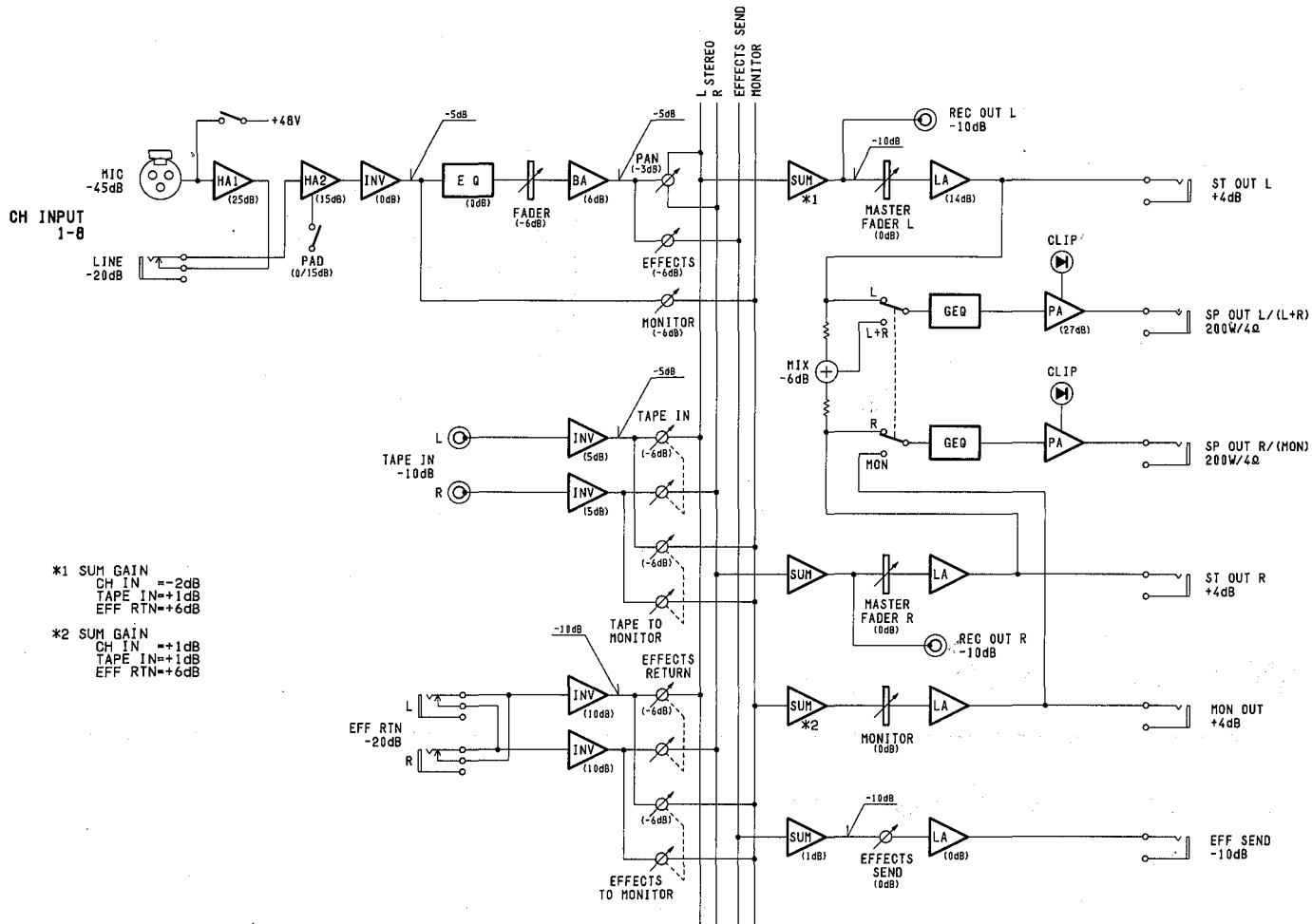


## 故障かな？と思ったら

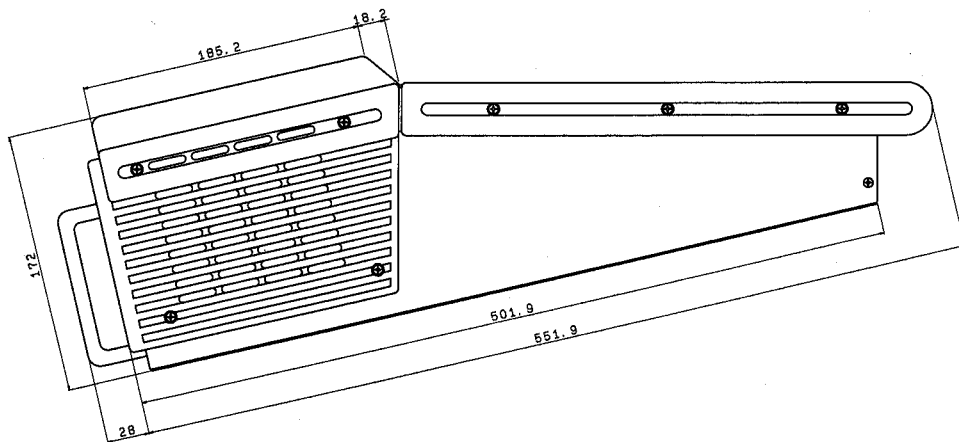
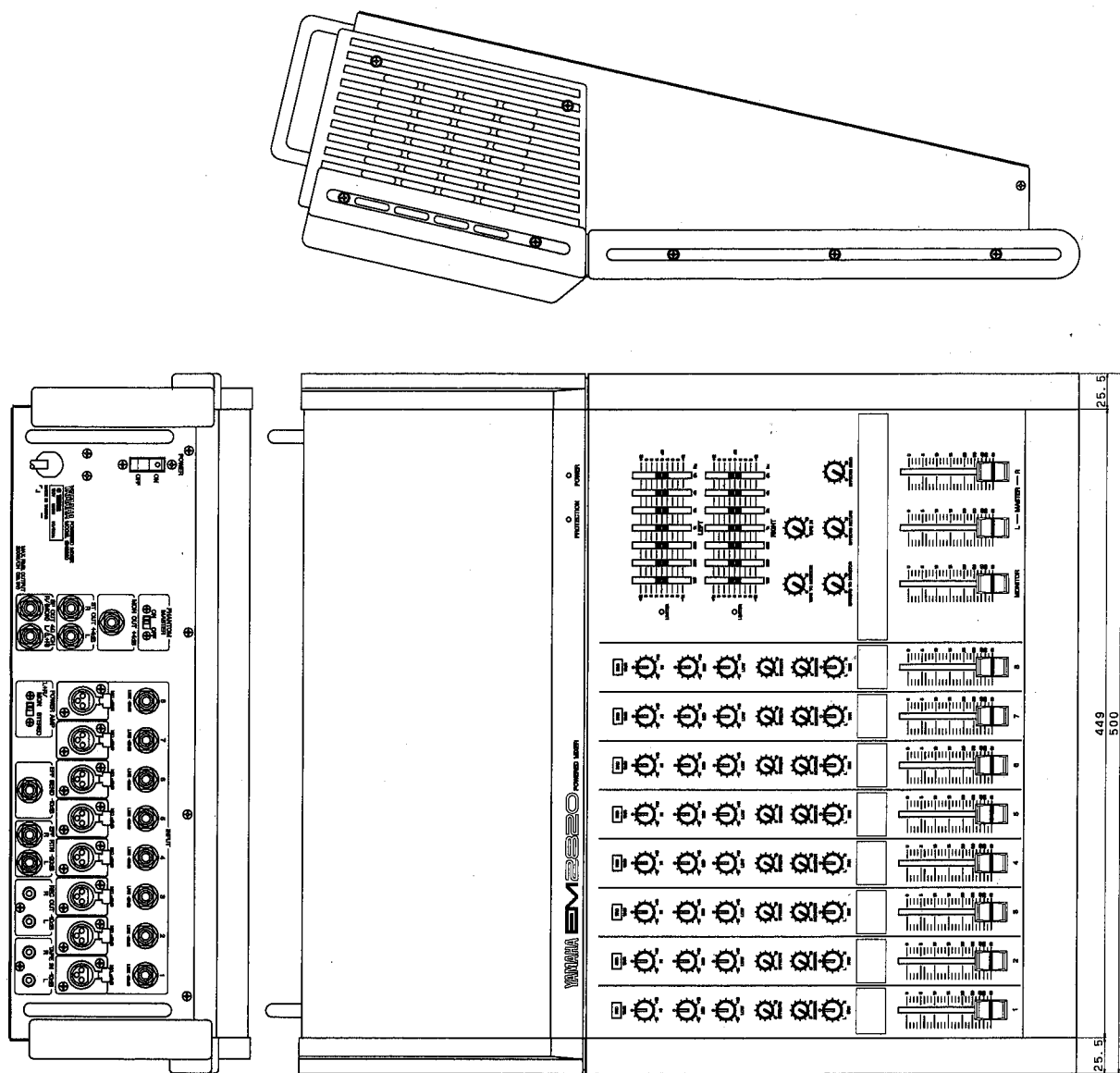
### 主な異常動作の原因と処置および保護回路の動作

症状	原因	処置
音が歪む	入力信号が大きすぎる (リミッターの動作領域以上の信号が入力されている)	本機側のチャンネルフェーダーを絞るか、入力機器側の出力レベルを下げる
	アンプの負荷が過負荷になっている	スピーカーのシステムインピーダンスを正しく設定しなおす (4ページ参照)
プロテクションインジケータが点灯してスピーカーから音が出なくなった	ミキサーの出力段にDC±2V以上の電位が発生している	販売店、またはヤマハのサービス拠点にご相談ください

# ブロック & レベルダイアグラム



# 寸法図



単位：mm

# サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年で  
す。(現金、クレジットなどによる区別はございません。  
ん。)また保証は日本内にてのみ有効といたします。

## ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所・お  
名前・お買い上げ月日・販売店名などを必ずご確認ください。  
無記名の場合は無効になりますので、くれぐ  
れもご注意ください。

## ●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに  
ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束  
申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期  
間中であつても実費を頂戴させていただくことになり  
ます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけ  
ますように充分ご配慮のうえで保管してください。ま  
た、保証期間が切れましてもお捨てにならないでくだ  
さい。後々のサービスに際しての機種判別や、サー  
ビス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店  
にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。  
この際必ず保証書をご提示ください。保証書がない場  
合にはサービス料金をいただくこともあります。又お  
買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上  
げ店あるいはヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連  
絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介  
申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービ  
スを責任をもって行うよう手続き致します。  
満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料とな  
りますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。  
なお、補修用性能部品の保有期間は最低  
8年となっています。(性能部品とは、その製品の機能  
を維持するために必要な部品のことです。)  
そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマ  
ハサービス網までお問い合わせください。

(ヤマハPA製品に対するお問合せ窓口)

### お客様ご相談窓口

#### 《ヤマハ AV機器事業部 営業部》

音響機器東京営業所	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F Tel(03)3255-1825
音響機器大阪営業所	〒556 大阪市浪速区難波中1-13-17 ナン/社本ニッセイビル Tel(06)647-8359
音響機器名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 Tel(052)232-5744
音響機器九州営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 Tel(092)472-2131
本 社	〒430 浜松市中沢町10-1
音 響 機 器 営 業 課	Tel(053)460-2455
商 品 企 画 室	Tel(053)460-2493

#### 《ヤマハ 楽器営業本部》

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1 ヤマハセンター内 Tel(011)512-8113
仙台支店 LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 Tel(022)222-8146
東京支店 LM営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル Tel(03)3574-8592
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 Tel(052)201-5199
大阪支店 LM営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 Tel(06)252-5231
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル Tel(082)244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 Tel(092)472-2130
本 社 LM営業部	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル8F
音響機器営業課	Tel(03)5568-2936

(修理受付および修理品お預り窓口)

### ヤマハ電気音響製品サービス拠点

#### 《ヤマハ電気音響製品サービス拠点》

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 Tel(011)513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台知海共同配送センター3F Tel(022)236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F Tel(025)243-4321
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F Tel(03)3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 Tel(044)434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ/柳宮竹工場内 Tel(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ/藤名古屋流通センター3F Tel(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新戸屋下1-16 ヤマハ/千里丘センター内 Tel(06)877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町通2-7-3 ヤマハ/神戸店内7F Tel(078)321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ/柳高松店内 Tel(0878)22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 Tel(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 Tel(092)472-2134
〔本社〕	
技 術 営 業 部	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ/柳宮竹工場内
テ ク ニ カ ル セ ン タ ー	Tel(053)465-5195

●この一覧表は1991年12月9日現在のものです。  
●所在地・電話番号などは変更されることがあります。

# ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町 10-1  
●AV機器事業部 営業部 ☎ 053-460-2455  
●楽器営業本部 LM営業部 ☎ 03-5568-2936